

EA742MK-30 熱中症暑さ指数計(電波時計付)

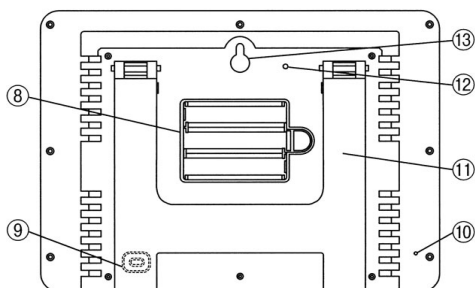
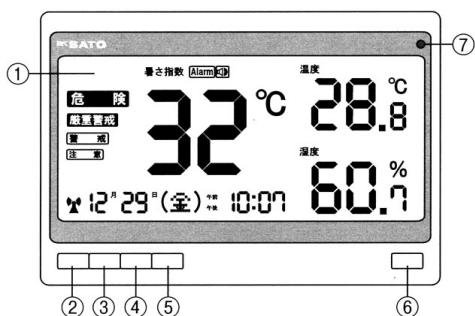


特長

- 熱中症の注意レベルを4段階とWBGT値の表示(注意、警戒、嚴重警戒、危険)
- 暑さ指数(WBGT※¹)のアラーム機能を搭載。設定したWBGT表示を超えると音・LEDで警告します。
- 暑さ指数(WBGT)、温度、湿度を同時表示。
- 電波時計付
- 電波受信機能
- 周波数…40/60kHz自動選局
- 壁掛け、卓上どちらでも設置できます。

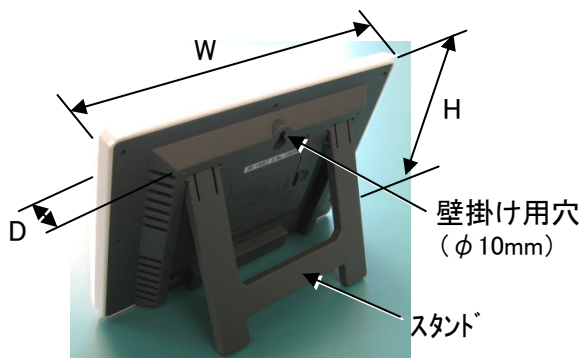
本体構成

●表示部



- ①表示部: 測定値や本器の状態を表示します。
- ②時計キー: カレンダー・時刻設定時に使用します。
- ③12/24▲キー: 12時間と24時間表示を切り替えるときに使用します。各設定モード中は、値を増加します。
- ④▼キー: 各設定モード中は、値を減少します。
- ⑤警報キー: 警報設定時に使用します。
- ⑥受信キー: 手動で電波受信を行うときに使用します。
- ⑦LEDランプ: 警報設定値を超えたときにお知らせします。
- ⑧電池カバー / 電池BOX: 乾電池をセットする部分です。
- ⑨ブザー音 ON/OFFスイッチ: ブザー音のON/OFFを切り替えるときに使用します。
- ⑩RESETボタン: 電源をリセットします。
- ⑪スタンド: 立て掛けて設置するときに使用します。
- ⑫ブザー: 警報動作およびキー操作に連動して音が鳴ります。
- ⑬壁掛け用穴: 壁に設置するときに使用します。

- ①暑さ指数: 暑さ指数を表示します。警報設定モード中は設定値を表示します。
- ②温度: 温度測定値を表示します。
- ③湿度: 湿度測定値を表示します。
- ④カレンダー / 時計: 月、日、曜日、時刻を表示します。
- ⑤電波受信マーク: 電波時計の受信状態を示します。
- ⑥注意レベル: 暑さ指数に対応した4段階の注意レベルを表示します。
- ⑦警報マーク: 警報機能がONのとき点灯します。
- ⑧音マーク: ブザー音ON/OFFスイッチがONのとき点灯します。



裏側

仕様

測定範囲	温度	0～50℃
	湿度	20～95%RH
暑さ指数		0～50℃(演算値)
分解能	暑さ指数	1℃
	温度	0.1℃
	湿度	0.1%RH
測定精度	温度	±1.0℃(10～40℃)、±1.5(41～50℃)
	湿度	±5%RH: 40～70%RH(at 23℃) ±8%RH(71～95%RH)
測定サンプリング		約30秒
センサ	温度	サーミスタ
	湿度	電気抵抗式センサ
警報設定範囲		暑さ指数0～50℃の範囲において1℃単位で設定可能
電源		単3電池×3本(付属)
電池寿命		約1年 ^{※2}
サイズ/重量		225(W)×25(D)×165(H)mm / 約500g(電池含む)

※1: WBGT(熱中症)指数とは

熱中症はスポーツ活動ばかりではなく日常生活や職場でも発生します。熱中症予防対策として、「日常生活における熱中症予防の指針」が日本生気象学会より示されています。この指針では、WBGT (Wet-bulb globe temperature、湿球黒球温度)を「温度基準」に採用し、その温度レベルによって「危険」(31℃以上)、「嚴重警戒」(28℃～31℃)、「警戒」(25℃～28℃)、「注意」(25℃未満)の4段階に分けられています。

温度基準 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28℃～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25℃～28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

(ここでのWBGTはその日の最高気温時の気温と湿度から推定されるものである)
(28℃～31℃は28℃以上31℃未満の意味)

※2: アルカリ乾電池使用、1日1回警報動作あり、手動受信をしない場合の条件